

(仮称)

東京湾の環境を
よくするために
行動する会



私たちは、東京湾を美しく豊かにするため様々な取り組みを行ってきました。

しかし、水質や生物生息状況を見る限り、現状維持が精一杯です。

それでも、私たちはあきらめてはいけません。まだまだ、私たちの知恵と行動が東京湾の環境をよくするために結集されているとは言えません。大切なことは次の2つです。

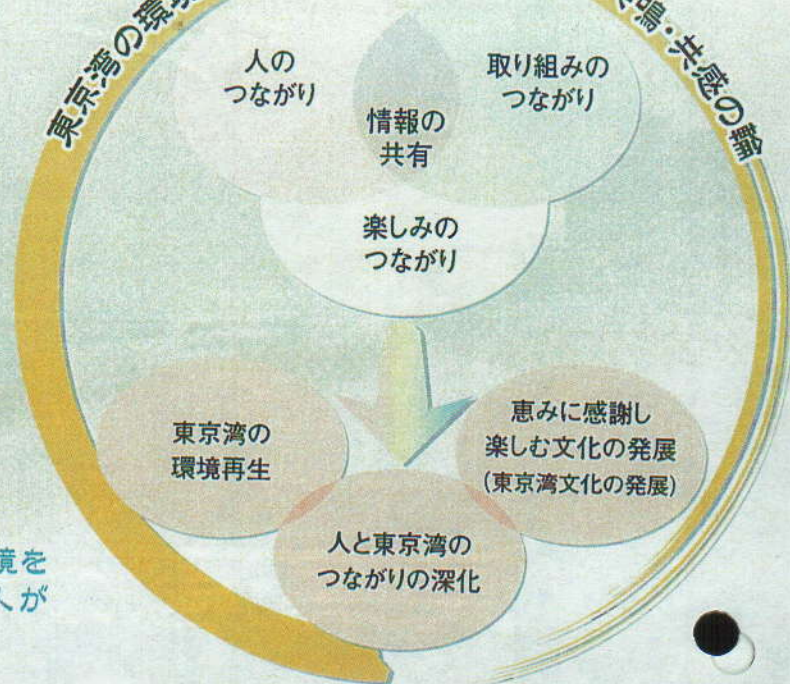
1

東京湾の環境をよくしようという「共鳴・共感」にもとづく、「人・取り組み・楽しみの輪(つながり)」が大きくなることです。

2

つながりを大切にし、東京湾の環境をよくするために私たち一人一人が自ら行動することです。

東京湾の環境をよくすることについての共鳴・共感の輪



東京湾の環境を よくするために行動する会 (仮称)

1. 会の目的

「東京湾の環境をよくするために行動する会(仮称)」(以下「会」)は、「東京湾の環境」と「東京湾と人のかかわり」の現状と課題を知り、課題解決の必要性や意義についての共鳴・共感の輪がひろがり、課題解決に向けて自ら行動していく人の輪がひろがることを目指します。

これにより、以下を推進することを目的とします。

- 1) 多様な主体の協働による「東京湾の環境再生の促進」
- 2) 「東京湾と人々のつながりの深化」
- 3) 人々が東京湾を大切にし、東京湾からの恵みに感謝し楽しむ新しい文化の発展(「東京湾文化の発展」)

2. 会 員

「東京湾環境再生宣言(仮称)」に賛同する個人・法人・団体とします。

3. 会の主な活動

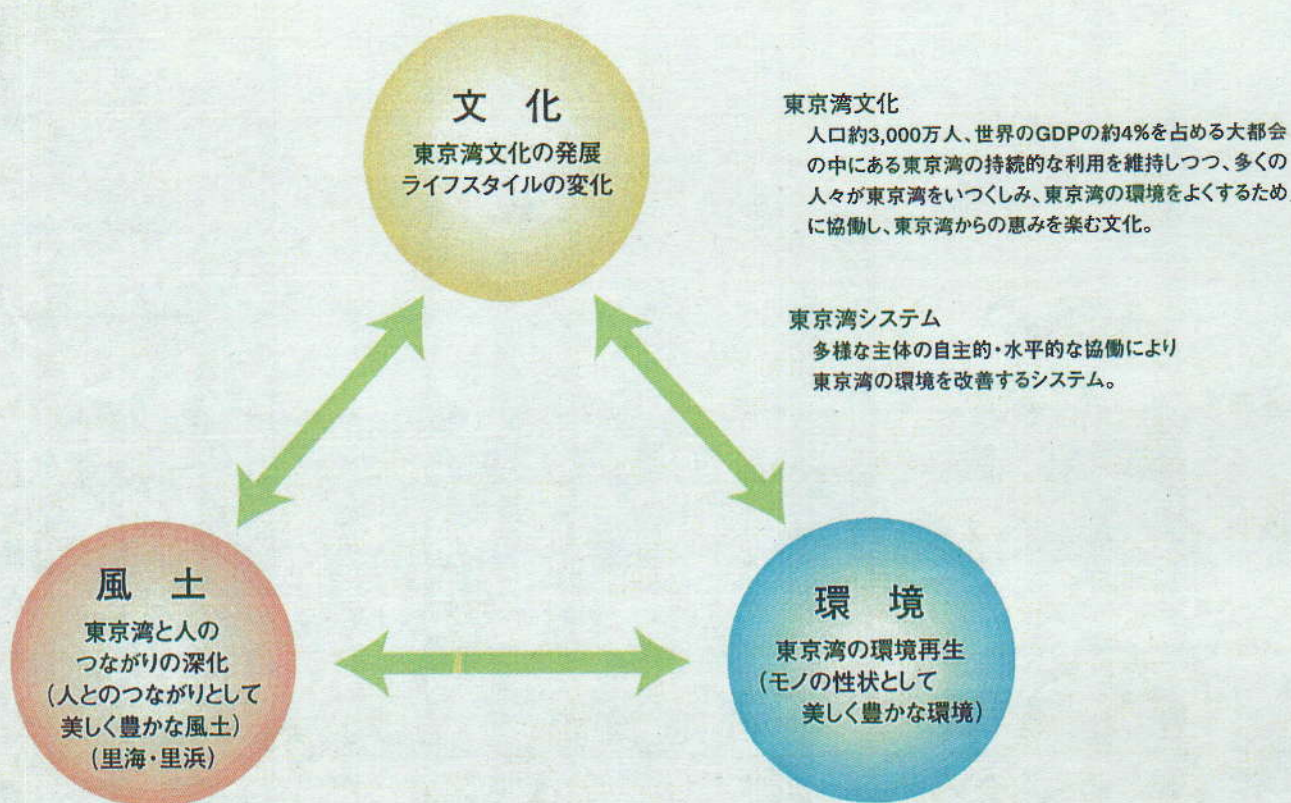
- 1) 「東京湾環境再生宣言(仮称)」の策定
- 2) 新しい協働の形「東京湾システム(仮称)」の提案
- 3) 行動計画の策定
- 4) 行動計画にもとづく、具体的「行動」の実践
- 5) 会の活動に共鳴・共感する輪の拡大のための情報発信(HP、会報)
- 6) 人材の紹介等、企業・市民・研究者間のつながりの橋わたし
- 7) 科学的・文化的「知見」の向上・深化のための調査研究等の振興
- 8) 市民活動等を支援するための助成
- 9) 「東京湾の日(仮称)」の設定の提案とシンポジウムの開催

4. 設立の予定

平成19年半ばの発足を目指します。

「東京湾の環境をよくするために行動する会（仮称）」の活動の目標

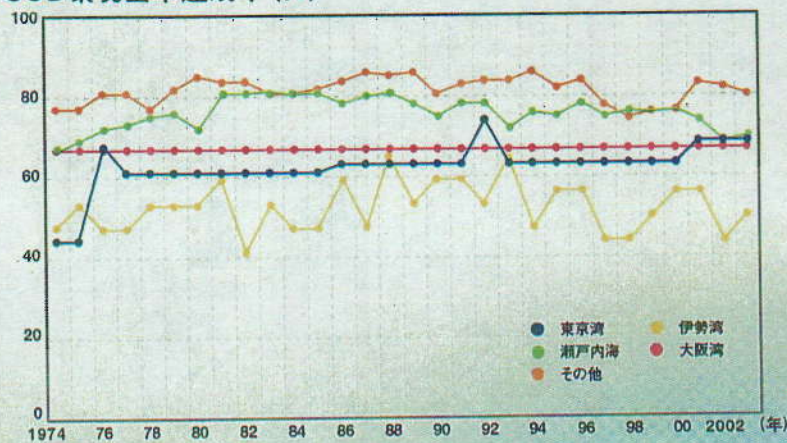
「東京湾文化の発展と人々のライフスタイルの変化」が「環境」を美しく豊かにする。
 その環境と人がふれあうことで、東京湾と人のつながりが深くなり、「風土」が変わる。
 風土は、新しい「文化」を育てる。そして、この好循環が続く。



東京湾の環境の現況と問題点



COD環境基準達成率 (%)



河川等から東京湾への流入負荷は、減少している。
 しかし、過去からの負荷の蓄積として海底に堆積している
 汚濁源からの溶出と、干潟の減少等による自然の浄化力の
 低下により、東京湾の水環境は横ばいにとどまっている。

環境改善のために各主体が取り組むべきこと

各主体の役割

主 体	主 な 役 割
市民 (あらゆる世代を含む)	活動への参加 (担い手) 活動資金の提供 (募金) ローインパクトの実践
NPO	プロジェクトの協働実施 社会への呼びかけ 調査・研究の推進
企業	プロジェクトの協働実施 研究開発の推進 活動資金の提供 (会費・寄付・助成) 企業活動におけるローインパクトの推進
漁業者	プロジェクトの協働実施 水質・底質や生物生息状況等に関する情報提供 おいしい水産物の水揚げ
研究機関・研究者	調査・研究開発の推進 (科学・技術的知見の向上) 情報発信 (現況や課題の解説) 社会への呼びかけ
国・地方自治体 (行政機関)	公的事業の実施 情報・観測データの収集・発信 制度の充実

【問合せ先】

wave 財団法人
港湾空間高度化環境研究センター

〒108-0022 東京都港区海岸三丁目26-1 パーク芝浦 6階

TEL:03-5443-5385 FAX:03-5443-5412

URL:<http://www.wave.or.jp>

R100
環境負荷低減のシンボルマーク

PRINTED WITH
SOY INK

●この印刷物は環境にやさしい
植物性大豆インキを使用しています。

(2006.9)